

農学部 75 周年記念企画

「愛」と「あぶら」のサイエンスカフェ

東北大学農学部 75 周年記念企画として、CFAI サイエンスカフェが 2022 年 12 月 15 日に開催されました。寒さが増してきた 12 月の仙台でしたが、農学研究科のみならず他研究科の大学院生・学部生、さらには高校生の方からも参加申し込みをいただき、会場のラーニングコモンズは非常にホットな雰囲気でした（写真 1）。北澤春樹研究科長による開会のご挨拶と（写真 2）、白川仁センター長による司会で、宮下脩平先生（農学研究科植物病理学分野）と筆者の伊藤隼哉（農学研究科食品機能分析学分野）による講演がスタートしました。

宮下先生のご講演は、「植物の自殺型集団抵抗性:『愛』の起源と自然選択の単位について」のタイトルで行われました。ご講演の冒頭に、お子様と一緒に自作されたという巨大なウイルスの模型（写真 2 の白いボール）が登場し、会場が大いに沸きました。実際のウイルスに即した構造となっており、素材は柔らかな紙コップですが、模型のように組み合わせることで非常に丈夫になることに驚きました。また、植物の生存戦略では、一見すると「個」としての生存戦略的に不利みえる植物の特性が、「集団」の生存戦略では有利となること、シミュレーションで一目瞭然となりました。筆者の講演は「質量分析で食品や生体の『あぶら』を知る」の題目で行われました。食品や生体に含まれる様々な「あぶら（脂質）」を紹介しました。多種多様な脂質を分析するのに有用な質量分析についても紹介し、参加してくれた学生から測定原理について理解が深まったという声もいただき、「『わかりやすく』学部・院生に研究内容を紹介する」という、本サイエンスカフェのミッションの一つを達成できたのではないかと思います。農学研究科の研究発信に加え、研究紹介や交流につながる有意義なサイエンスカフェとなり、このような機会を起点とした研究の活発化が期待されます。

伊藤隼哉（東北大学大学院農学研究科食品機能分析学分野）



写真 1. 多くの皆様に参加いただきました
（ディスカッションも活発でした!）

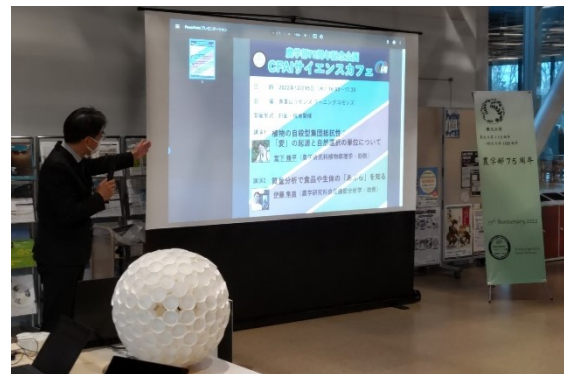


写真 2. 北澤研究科長の開会のご挨拶
（目の前にある白いボールは、?）